
ユーノ・スクライアに生まれ変わり

KEI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ユーノ・スクライアに生まれ変わり

【Nコード】

N62480

【作者名】

KEI

【あらすじ】

三歳になったその日、ユーノ・スクライアある事実と相對する。その事実とは？

この日僕ことユーノ・スクライアは三歳の誕生日を迎えました。

誕生日といっても、その日にスクライア族に拾われたというだけで実際の生まれた日は不明。

まあ、なににせよ僕は三歳になったわけなのだが……前世の記憶とやらが脳味噌に現れました。

いきなり現れたのではなく、今の僕自身との整合性だかなんだかをとりながら徐々に現れ、今日この日完全に思い出したという感じがします。

その記憶によると、僕は『魔砲少女リリカルなのは』？だかなんだかでマスコットのフェレットをやり、その後無限書庫だか云う所に幽閉され一生を終えるそう。

……あれ、僕の人権は？いや、なんか事件の原因のようなことをしたようないような感じなんだけど、それだけで幽閉？何故何Why？！

しかもその時僕十歳程度だし、いくらなんでも酷くない？

発掘したやばいもんがばら撒かれたこと知って何とかしようとしたら、やたら香ばしい銀髪オッドアイの化け物じみた魔導師に虐待されてるんですけど。

予知夢じゃないのは、それを見てる僕がユーノ・スクライアでない

ことから分かるけど、っていうか僕二次元の世界の人？

えーと……よし、起こり得る事は分かってるんだから今の内から準備しよう。

ジュエルシードに闇の書だか夜天の書だっけ、後レリック？

戦力不足の陸士隊が暴走とかだっけ？

ともかく落ち着いてもう一度ゆっくり最初から思い出していつて、そして最悪の未来の回避だ！！

あれから十五年、私も立派なスクライアの一員となりました。

三年前に一緒になった妻との間には娘と息子ができ、日々充実しております。

結婚するのが早い？いえいえ、状況によっては十歳前後で大人扱いのこの世界ではそれほど不自然な話ではありません。

だいたい十五から二十一、三歳までが適齢期で、二十歳になっても

異性の影が見えないようなやつは結婚する気が無いのだと判断され縁談も来ない、それが次元世界の常識です。

私の場合、もともと血縁が無かったこともあり一族に正式に迎え入れるため、早くから婚約者が決められていました。

『自由が無い』という言い方もありますが、むしろ早いうちから義務や責任といったものを自覚させる手法が間違ったものともいいがたいのも事実です。

そもそも私も妻も、不自由の中の自由で恋愛もしましたし喧嘩もしました。

そうやって分かり合って、今の幸せを築き上げたのです。

ああ、そうそう、PT事件と闇の書事件。

この二つに関しては、上手くいきました。

ジュエルシードを発掘した際、あらかじめ当たりをつけて史料や資料をあさり、レポートをまとめ、いざ物が出てきたらしっかりと調べ上げレポートをまとめ、ついでにその危険性に関して多少色をつけて当該機関に報告。

そして危険すぎる物に対し相応の対応を求めました。

最初その機関、時空管理局は腰が重かったのです。

人手不足がどうか、本当にここまで危険なのかとか、あげく宅急便でよくねとか。

ジュエルシードの危険性やらそういった対応をした受付やら部署やらに関して詳細に記録に残し、いざ何かがあった際はあらゆる責任の所在がそちらにあることを証明できる旨を示したら、Sランク三人乗せた最新鋭次元航行艦が一週間と経たずに到着しました。

やれば出来るじゃねえかと、どこが人手不足なんだとかと、あげくそいつらが言うには近くをフラフラして暇してたから丁度良かったとか。

自浄作用がまともに働かない組織の典型を見ました。

なんにせよ、一切の問題も無くジュエルシードの件は解決しました。

闇の書に関しては、原作？を参考にして事が起こる前に無限書庫に行きました。

部外者が入れるのか不安でしたが、すんなりいきました……組織の腐敗臭がする……だってここ、裏帳簿とかそういったものが普通に放り込んであるんですよ。

ともあれ、『闇の書』及び『夜天の書』で検索してたら、かの有名な聖王女オリビエの曾祖父である聖王の日記が引っかかりました。

初恋がどうか、アイツが気に喰わんとか、数世代かけた世界征服計画とか、腐った貴族に対する愚痴とかいろいろありましたが、その中に夜天の書に関する記述がありました。

要約すると、『最強のユニゾンデバイスに改造しようとしたら、ヤツチャツタZe!!』。

……とりあえず史料用、保存用、予備、某提督に提出用、某地上の固太りに提出用とコピーを取りました。

夜天の書の元々の設計図も載ってますし、聖王教會的に黒歴史な内容は固太りの役にも多少は立つでしょう。

日記の主も、さすがにやばいと夜天の書を戻そうとはしていたみたいで直し方も載ってました。

某提督は、内容を見て夜天の書の呪いだかなんだかを解除、念のため封印処置を施して回収したそうです。

まだ原作まで二、三年ありますし八神はやても特にあの書に拘りはなかったようです。

某提督はそのまま管理局を辞めて養女とともに地球に暮らしているそうです。

地上の戦力不足、これが後にいろいろ問題に発展するようなので、魔導アーマーの設計図を送りました、匿名で。

あれすごいんですよ、構造そのものは単純ですし、素材も既存のものに簡単な魔導処置を施すだけ。

ぶっちゃけ高性能デバイスそろえるよりも金がかからなく、均質化した戦力を整えられる代物です。

そもそも一般人でも乗りこなせます。

オプションパーツも万全で空でも海でも地中でも。

まあこの程度でどうにかなるとは思いませんが、私に出来るのはここまででした。

そういえばフェイト・テストロッサ嬢ですが、紆余曲折の末うちにやってきて私の友人の嫁になりました。

母親が死んでから、いまさらのようにその冤罪が晴れたそうです。

それだけならまだしも、残された彼女に対し謝罪の意味を込めて管理局で働かせてやろう、などと上から目線で言ってきたそうです。

母親との間でいろいろあり、さら冤罪に関して調べたりして鬱憤が溜まっていたこともあって温厚で受身な彼女も流石にきれて内密に処理されそうになった冤罪の件を次元世界中に公開。

やらかしたのが海の派閥だったこともあり、地上の固太りがこれに

乗じて世論を動かし組織の大掃除に乗り出したそうです。

出るわ出るわ、正しく汚職のデパート。

組織としてやってない犯罪なんてないんじゃないって勢いでした。

さらに指名手配されてたとある博士が出頭、マスコミの前で海〃本局上層部に脅され非人道的な研究に携わっていたことをぶっちゃけた。

今の地上の固太りならば守ってくれと判断したとか。

そんな中フェイト嬢は、しつこく言い寄ってくるストーカーや押し寄せる政治の話から離れるため行方を晦ましスクライアに拾われたと云った次第です。

面倒見の良い妻とはすぐに打ち解け友人となり、その縁もあり私も友人となりました。

まあ、そんなこんなで世界は動いてますが、私の周辺は平和なものです。

（後書き）

前世の記憶を持っただけのユーノ。
彼とは別に何人かの介入者がいます。
そのうち彼らに関する外伝でも書きます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6248o/>

ユーノ・スクライアに生まれ変わり

2010年10月31日21時41分発行